

山本 やすゆき 議員 (未来)



ち指導を希望する地域の指導者の方々による特色のある新しい部活動を立ち上げては如何か。

部活動の協議会で検討していく。区民と繋がる新しい区政のカタチ名付けて「しながわみんなのデジタルプラットフォーム、実現へ」

教育の質No.1のまち、しながわ子どもたちの無限の可能性を引き出す 学校教育の仕組み、実現へ

教育の質向上に向け、生成AIを活用した教育デジタル化の国の

実証実験事業を活用しては如何か。子どもの資質能力の育成に最適な指導方法を研究・実践していく。

教育版マインクラフトや桃太郎電鉄など、エンターテインメント性を取り入れた学びを各学校に活用を促す仕組みを検討しては如何か。事例を集め、各校に紹介していく。

質の高い授業のため、好事例等の情報の効率的な共有や、先生方の負担軽減に繋がる、教職員専用ポータルサイトを作成しては如何か。教職員にとって活用しやすい仕組みを研究していく。

須貝 行宏 議員 (品改)



職員の平均年間給与が26万円も増えるなら、区民や区内企業にもつと支援を

物価高騰により区民生活や区内の企業経営が厳しい中で、住民税非課税世帯、子育て世帯や一部の業種だけに支援するのは不公平です。

これから職員の平均年間給与が26万円も増えるならば、年金暮らしの高齢者、非正規や中小企業労働者、介護・看護・保育関係者などや中小・零細企業にも公平に支援をするべきではありませんか。

区民生活への支援は、住民税非課税世帯、均等割世帯、独り親世帯に対する給付金による支援を行った。また中小企業には、省エネ・業務改善・生産性向上の設備更新を対象とする支援を開始し、融資返済支援も継続していく。

談合や官製談合が疑われる区の入札制度の改善を

区では入札予定価格を事前に公表している。落札率は99.9%と高く、入札参加者も少ない。また入札辞退者が多く1社入札もあるなど、区の入札は香川県と似ていて、談合や官製談合が疑われるので、改善をするべきではありませんか。

香川県の事例は、新聞報道により公正取引委員会が事業者に立入検査を行ったものと把握しているが、品川区の入札制度は適正に運用されており、官製談合はない。

災害停電に備え、一家に一台、簡単に蓄電できるポータブル電源機の普及・啓発を

災害時に一番困るのは停電です。停電したら給湯・給水器、トイレ、家電も使えない。仕事も日常生活も営むことが出来ない。ソーラーパネルと連結できるポータブル電源機を、家庭や企業において一台ずつ設置するように普及・啓発をするべきではありませんか。

災害時の電源確保は重要だ。災害に備えた電源確保の重要性を丁寧に周知し、家庭や企業において一台ずつ非常用電源の確保が進むよう周知・啓発を実施していく。

新妻 さえ子 議員 (公明)



ベーシックサービスの具体化について

第1子まで保育料無償化の拡充について区の考え方を伺う。

東京都との連携を密にし、早期実現に向けて具体的な検討を進めていく。

修学旅行費等、中学校・義務教育学校の標準服と大学生への独自の給付型奨学金制度の創設について、所得制限のない無償化の具体的な検討状況を伺う。

修学旅行費等、標準服代は、予算編成作業の中で様々な角度から検討をしていく。給付型の奨学金については、若者の進学への思いや将来への夢、希望を十分に把握し、選考に生かす仕組みを含め具体的な検討を進めていく。

の利用率は、東京都のシルバーパスのような仕組みを要望する。

住まいに関する総合相談窓口の開設は、福祉的な視点も踏まえ、市内横断の体制での取組を要望する。様々な支援をワンストップパッケージで提供できるよう、住宅部局と福祉部局が強力に連携を図りながら取り組んでいく。

病気等で意思表示ができない、または死亡したとき、病院、消防、警察、福祉事務所などに、市や区が登録情報を開示する終活情報登録は、登録料を無料とするよう要望する。

経済的な負担軽減を図ることで、多くの方が安心して登録できるよう区として取り組んでいく。

災害対策について

トイレットラックは、区が主導で計画を立て13地域全ての総合防災訓練で展示し、トイレの事前準備など意識啓発をするよう要望する。

防災協議会や協定事業者とも連携し、地震体験車と同様にトイレトラック等を展示することで、災害時トイレ対策の意識啓発をする。

横山 由香理 議員 (無所属)



医療と公衆衛生について

区民一人ひとりが自分の身体を知り、病気や医療の知識を学ぶ機会、その機能を高めてほしいが所見は、健康大学や出張健康学習、各種講演会など様々な事業を実施しており、今後も事業を展開していく。

患者を全人的に見る視点を大切にできるように、地域医療の現場に働きかけてほしいが区の見解は、品川・荏原西医師会と連携して、全ての区民がかかりつけ医を持つよう呼びかけを行っている。

医療ソーシャルワーカーや保健師などの専門職の役割と区の役割について伺いたい。

専門性を生かし安心して治療に専念できる環境をつくり出す。区の役割としては、分野を超える連携の強化の支援等が考えられる。

空気清浄機を含めた避難所の環境整備と平時の意識啓発の状況は。換気有効な大型扇風機を2台配備しており、引き続き生活環境の改善について検討する。平時から訓練などで意識啓発に努める。

戦争トラウマを受けた祖父母などからの世代間伝達による虐待への影響を最小限にするため子どもたちの心のケアを強化してほしいと思うが、区の考えは。トラウマを克服して健全な育成環境を取り戻し、将来親になって虐待をしないように支援していく。

若年女性への支援活動を後押し、子ども・若者応援フリースペースなどの居場所やサポート体制をさらに強化するなど地元でとどまってもらうことが必要、区の考えは。西品川にある子ども・若者応援フリースペースにつながることで、できるよう周知していくとともに、フリースペースにおける社会体験活動の充実、また地域バランスを考慮した新たな支援拠点の設置について検討する。

心身のケアについて

生活ぎづらさを抱えた子ども・若者について

若年女性への支援活動を後押し、子ども・若者応援フリースペースなどの居場所やサポート体制をさらに強化するなど地元でとどまってもらうことが必要、区の考えは。西品川にある子ども・若者応援フリースペースにつながることで、できるよう周知していくとともに、フリースペースにおける社会体験活動の充実、また地域バランスを考慮した新たな支援拠点の設置について検討する。